

区議会だより

発行/江戸川区議会
江戸川区中央1-4-1
☎ダイヤルイン 5662-6736
<http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/>

180号の 主な記事

- 第4回定例会概要、区長提出議案、議員提出議案..... 1ページ
- 代表質問・一般質問..... 2~3ページ
- みなさんと区議会、請願・陳情の処理状況 4ページ

平成18年 第4回定例会 補正予算を含む議案15件を可決

「法テラスの更なる体制整備・充実を求める意見書」を関係機関に提出

平成18年第4回定例会は11月30日から12月12日までの13日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、都市計画道路補助143号線の受託事業費や、葛西親水四季の道の導水管の維持補修費などを計上した補正予算を含む15件の議案と報告1件が提出されました。

これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

また、議員からは、「法テラスの更なる体制整備・充実を求める意見書」・「高速道路料金不払い運動を助長した田中健議員に対する問責決議」(4ページに決議文掲載)が提出され、それぞれ可決されました。意見書は関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、2月中旬にできあがります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。



↑平成庭園 源心庵

●●●区長から出された議案●●●

- 予算
 - ・平成18年度江戸川区一般会計補正予算(第3号)
 - ・平成18年度江戸川区一般会計補正予算(第4号)
- 条例 (一部改正)
 - ・江戸川区長、助役、収入役及び教育委員会教育長の給料の特例に関する条例
 - ・江戸川区小岩アーバンプラザ条例
 - ・江戸川区保育所条例 ※
 - ・江戸川区保育所の保育の実施に関する条例
 - ・江戸川区立学校設置条例 ※
 - ・職員の給与に関する条例
 - ・幼稚園教育職員の給与に関する条例
 - ・江戸川区職員の退職手当に関する条例
- 契約
 - ・建物の買入れ
 - ・建物の買入れ
- 規約(新設)
 - ・東京都後期高齢者医療広域連合規約 ※
- その他
 - ・訴えの提起
 - ・江戸川区自動車駐車場の指定管理者の指定
- 報告
 - ・専決処分した事件の報告及び承認

※印は賛否の分かれた議案
賛成38(自由民主党・公明党・市民クラブ・無所属クラブ)
反対 6(日本共産党)
それ以外の議案は全会一致
会派の略称 市民クラブ=市民クラブ・ネット民主無所属

..... 議員から出された議案(全会一致)..... 意見書は各関係機関に送りました

- 「法テラス」の更なる体制整備・充実を求める意見書
〔衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣 あて〕
*「法テラス」とは、法律サービスをより身近に受けられるようにするため設置された「日本司法支援センター」の愛称。主な業務は、民事法律扶助、犯罪被害者支援、国選弁護の事務などです。
- 高速道路料金不払い運動を助長した田中健議員に対する問責決議案 1(無所属クラブ)

◎第4回定例会日程◎

- 11月30日 議案上程、委員会付託
- 12月 4日 代表質問
- 5日 追加議案上程、委員会付託、一般質問
- 6日 議案審査
- 7日 請願・陳情等の審査
- 12日 委員会報告及び表決



区政への質問

12月4、5日に代表質問と一般質問が行われ、収賄事件の再発防止について、子育て支援、障害者支援、防犯対策、防災対策、教育問題などのほか、区政全般の課題について活発な論議が展開されました。ここでは、質問と答弁の要旨を掲載しています。

代表質問



区長の来期に望む決意を・教育全般について

自由民主党
島村 かずしげ

問 江戸川区の確かな明日を築くため、実績・経験を生かし、引き続き来期に望む決意を。

答 区民の方々の幸せと地域発展のために、微力をささげていきたい。

問 収賄事件再発防止に取り組む決意を。

答 誠に残念極まりないことで、再発防止に向け、あらゆる方策を講じていく。

問 刑法犯認知件数は大幅に減少しているが、区民の治安に対する不安は払拭されたとはいえない。安全・安心に対する基本姿勢は。

答 地域力で犯罪件数を減らしてきた。これからも区をあげての運動として進めていく。

問 自転車に関わる犯罪は犯罪総数の約40%であり、また街頭犯罪で検挙された約36%のほとんどが地元の青少年である。自転車からみの犯罪を減らすための対策は。

答 葛西地区で展開している中学生による「自転車盗ゼロ作戦」を全区的に広げていき、青少年の自覚を高めていきたい。

問 教育問題について

(1)「言葉・品格・愛国心」についての見識は。

(2)今回のいじめ問題への取り組みは。

(3)来春、文科省が実施する国語・算数(数学)の全国学力調査への見解と結果の活用方法は。

(4)小学校での英語学習の必修化についての考えは。また、真の国際人とは。

(5)「志」なくして新しい社会の創造はできないと考える。志を教育の根底に据えるということについての所見を。



英語教育

答 (1)多くの人々との関わりの中で、心の交流・心の体験をして、豊かな人間に育っていくことで品格が自然と備わると考える。

(2)学校だけでなく、家庭・地域・関係機関とも連携し、対策に取り組んでいきたい。

(3)調査は必要なものと考えている。結果の分析をして、区内全体の学力向上を図っていく。

(4)消極論が多い。英語を話せるだけでなく、日本語や風習・文化をよくわかまえ、相手国の文化を理解できる人が真の国際人である。

(5)若い人の気持ちが社会の中で有意な人間として生き、そこに向かっていくよう作用して

いくことが、志に対する一つの教育である。



自転車の安全運転励行と認知症予防施策の充実を

公明党
安田 明

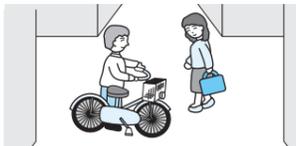
問 次の区長選に出馬する決意を。

答 共有・協働の理念のもと、さらなる江戸川区の発展に力を発揮していきたい。

問 収賄事件の再発防止は、抜本的な対策を講じ、区民の信頼回復に全区あげて取り組んでいかなければならない。今後の対策は。

答 様々な方策を検討している。適宜情報を公開し、最善を尽くしていく決意である。

問 自転車の安全運転励行については、区民の生命を守り、安全安心な街づくりを進めるためにも、区民が守っていくよう喚起するとともに、交通ルールを守らない利用者に対して注意ができるよう条例の制定を。



自転車マナー

答 条例制定が自転車利用のマナー向上につながるかは疑問である。自治体の意欲の表明という面もあるが、広く区民の共感を得ることも必要であり、慎重に検討する。

問 これからさらに進展していく高齢化社会に対応するために、区独自の新たな認知症の予防対策の取り組みを。

答 地域の方々のご協力を得ながら、熟年者が介護を必要としない生活が送れるよう、きめ細かく対応していきたい。

問 北小岩で進められているスーパー堤防計画事業は、これまでの想定を上回る大洪水の被害等を防ぐため、堤防の高さの約30倍の幅を持った堤防をつくり、安全な暮らしを未来へと受け継ぐ事業と言われているが、住民の意見をよく聞き、最善の取り組みを。

答 災害対策上、必要なものではあるが、一方的に押し切っていく姿勢ではない。時間をかけて話し合いを行うなど、強引に進めることなく、地道な努力を続け、理解を得ていく。

問 火災予防対策について、火災原因の4割にのぼる放火についての情報提供や住民組織へパトロール強化への呼びかけを。また、火災の集中発生地域へは、積極的な放火対策と防犯パトロールカーでの巡回やパトカー・警官のパトロールなどでの重点的な見回りを。

答 警察、消防と情報を確認しあい、対応している。今後も区民に情報を提供し、きめ細かい対応を、より一層すすめていきたい。



子育て支援の充実と犯罪防止策を問う。

市民クラブ・ネット民主無所属
田辺 達昭

問 家庭内保育の支援事業としての乳児養育手当の支給額が1万円と1万3千円のまま長年据え置かれている。唯一の子育て経済支援として価値が深いものであることから、一律2万円支給するよう決断を。

答 創設当時は、区の独自施策としてインパクトがあった。保育のサービスを受ける人と受けない人の格差が大きく不合理であることから、支給額の増額や支給対象年齢の拡大を含めて、支援のあり方を考えている。

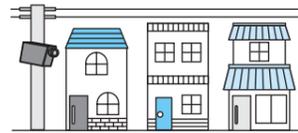
問 若いお母さんへの子育て支援、育児不安解消、病気になったときの支援など家庭内保育者へのボランティアを含めた支援ヘルパー派遣の充実を。

答 新年度事業で考えている。しっかりフォローしなければならないことである。

問 医療費の無料化は、親が子に対する健康管理への心配りを全て医者まかせにすることにつながる。親は絶えず、子どもの健康に気遣いをしてこそ親と子・家庭の絆が確立され、人に優しい人間性が育まれると考える。小中学生の医療費無料化についての方針は。

答 財政負担等、様々な条件があるが、早急に結論を出していきたい。

問 犯罪を抑止していくため、コミュニティによる防犯強化とその取り組みを応援するための防犯カメラの大量設置を。



防犯カメラ設置

答 財政的に困難である。カメラの目ではなく、地域の愛情の目で見守ることが大切。

問 契約は、財政支出との関わりあいからいかに適正な価格で契約を結ぶかが全てである。適正価格であることの判断は、過去の契約を1件1件精査し、研究していく必要がある。また、契約問題は全国共通の問題でもあるが、江戸川区でも区内業者の育成、談合の排除、担当者の倫理観の確立、物品に関する目利き、入札制度の抜本的な見直しなど、様々な課題の検討を。このことは、試行錯誤を繰り返しながらの永久的な課題ではあるが、今後の執行部の努力を期待する。

答 適正な設計価格を示すことが重要であり、第三者に客観的な見積りを依頼していきたい。



区長への献金、医療改悪、スーパー堤防の撤回

日本共産党
セバタ 勇

問 収賄事件について

(1)「汚職根絶対策会議」の報告書の受け止め

と必要な損害賠償を求めることへの決意は。
 (2)職員配置の教訓と再発防止の基本的な考え方は。特に契約行政の新たな制度への改善を。
 (3)事件関係者からの区長への献金について。また、企業・団体献金の考えを。

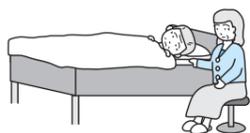
答 (1)報告書の趣旨に沿って、積極的に改善していく。独占禁止法による排除命令などが出された段階で損害賠償を求めていく。

(2)適材適所が原則だが、長期在職の防止も図っていく。区内業者の育成を図りつつ、競争性・透明性を高めていく視点で改善していく。
 (3)適法な処理だが、誤解を招かぬよう返還し手続をとった。献金は、全て個人献金である。

問 医療制度「改革」について

(1)長期入院患者の状況を深刻にする療養病床の削減はすべきではない。国に対し、反対を。
 (2)自治体健診から保険者健診に移行する区民健診・熟年健診・節目健診について無料健診継続のための、区独自の助成を。

(3)後期高齢者医療広域連合について、窓口全額負担となり、実質的な無保険者を生み出す「資格証明書」はやめるべき。また、保険料の負担軽減を図るなど、都や区市町村からの一般財源投入を可能な制度にするよう検討を。



療養ベット

答 (1)今のところ、言うつもりはない。
 (2)一般財源を投入し無料とすることは、他の保険加入者の理解を得ることは難しい。
 (3)法律で決められている通り実施する。負担軽減は、制度設計の中で考慮されている。

問 北小岩地区スーパー堤防建設反対の陳情署名数は、増えつつけている。国土交通省は「住民の納得・合意のないところでは、国が強引に作ることは出来ない」と答え、区の住民説明会の中でも、「60%から80%の方に理解されなければ、事業を進めることは出来ない」と答えている。様々な理由から作る必要がなく、また、住民が反対の強い意思を示しているスーパー堤防建設の見直し、撤回を。

答 現状で安全だという認識は持っていない。その中で、無理押しということなく、住民の理解を得ながら、すすめていきたい。

一般質問



教員人事権委譲・製造業の活性化・老老介護の解消を

自由民主党
 荒井 てるお

問 教育の向上には、優秀な教員の養成と確保が重要である。教育再生に向けた国の動向を踏まえ、教員の人事権を都から区へ委譲を。

答 安定的な財源の確保も含め、あらゆる場面を捉えて要請していく。

問 職住近接型の活力ある都市を基盤とする

ためには、地域産業の振興の必要性は高まるが、製造業の現況に目を向けるとその基盤が万全ではない。区内製造業の活性化を。

答 製造業は区内産業の活力源である。大切な産業を守り抜く姿勢で取り組んでいく。

問 要介護レベル4、5の待機者数は507名であり、休みなしの老老介護は体力の限界につながる。特別養護老人ホームの待機者解消を。

答 身近なところで介護が出来るよう、小規模特養や、小規模多機能施設を整備していく。



いじめ対策と東京メトロ東西線について

公明党
 倉内 まこと

問 今回の庁舎改装が、より便利で雰囲気がよく、評価が高まるよう最大限の工夫を。

答 職員、スタッフの心のサービスを充実させ、一層魅力ある区役所にしていきたい。

問 イジメ対策について

(1)イジメの情報を隠ぺいしないために、実態を正確に把握し、報告が吸いあがる体制を。
 (2)子どもの教育の中で「最も大切なものは命である」との教育の徹底を。
 (3)地域・PTAとも協力し、イジメ側の子どもの正しい道に引き戻すため、努力している親を支援するシステムの作成を。

答 (1)情報が得られれば、敏速に対応し、イジメが悪いことと教えていくことが大切である。隠ぺいがないことは当然である。
 (2)言葉だけの問題ではなく、大人が命の問題をどう考えているか示し、子どもを取り巻く多くの方が自らの人格の中で適切な接し方をすることが、命を大切に教育につながる。
 (3)状況がそれぞれ違う中で、システムを構築することは難しいが、探求していきたい。

問 区役所から篠崎駅間のバス路線を瑞江駅まで延伸することにより、乗客が増加すると考えられることからバス事業者に要望を。

答 いろいろなきっかけをつかみながら、不便感、不平等感がないよう努力する。

問 東京メトロ東西線について

(1)西葛西駅に快速の停車を。または、快速運転は日中だけにすることのさらなる要望を。

(2)荒川鉄橋の騒音対策については、江東区側に設置されている立派な防音壁を江戸川区側にも設置するよう、強い申し入れを。

答 (1)快速の各駅停車化は拡大してきたが、引き続き強力で要望していきたい。

(2)橋の構造上設置できないが、軽量の防音壁の設置など早期実現に向け、働きかけていく。



障害者1割負担の撤回 子ども通院費の助成を

日本共産党
 小俣 のり子

問 障害者自立支援法の1割負担の撤回を国に求め、実態調査の実施と地域支援事業等

の負担軽減策を。小規模福祉作業所への支援を。

答 法に従い実施する。丁寧に行った調査を踏まえ、サービス向上と支援に努めていく。

問 公立保育園が求められている中、なぜ民営化なのか。53園全ての保護者への説明を。

答 小さな政府は時代の要請。他施設も民営化する。公立、私立とも優れた保育をしていくことに、差はない。説明は充分行っている。

問 中学3年生まで通院医療費の無料化とインフルエンザ予防接種への半額補助を。

答 現段階では白紙。公費助成に馴染まない。



新川千本桜構想と、世論調査が示す防犯活動について

自由民主党
 田中 壽久

問 新川千本桜構想は、地域の人々が新川の歴史を再認識し、新しい歴史と文化につながる。また、地域住民の理解を得ることが桜の木を育てる原動力となる。今後のすすめ方は。

答 水辺の傍らに木を植えることができるので、水面に桜が覆いかぶさる千鳥が淵のようなイメージで植えていくことを考えている。地域の活性化が進むような計画を作っていく。

問 区民世論調査の結果では、防犯対策を望む一方、パトロール活動を知らない人も多い。防犯に対する意識の高揚につなげるためパトロール活動等への参加しやすい環境づくりを。

答 知らない人は、若い世代に多い。防犯パトロールは、今や全区的な活動となっているため、いずれ、全ての区民の関心を引き、犯罪をなくすことにつながると確信している。



一步踏み込む子育て支援・橋は、地域の心の架け橋

自由民主党
 早川 和江

問 総合的な少子化対策についての認識は。

答 あらゆる世代にとって、住みよい環境づくりが、子育てしやすい環境に結びつく。

問 病気回復期の子どもを預かる病後児保育の区内各地域への拠点整備を。

答 実施して下さる方がいれば、拡大する。

問 孤立しがちな在宅育児者への支援やヘルパー派遣など児童虐待防止対策の強化を。

答 育児支援ヘルパー派遣や一時預かりは19年度から実施。きめ細かく対応していく。

問 (1)小岩大橋の歩道幅員の拡幅を。(2)上一色中橋の架け替えの進捗状況は。(3)老朽化が進む鹿本橋・松本橋の今後の考えは。

答 (1)拡幅で進んでいたが、中断している。

(2)20年度に仮橋を設置し、21～24年度で架け替え工事を行う。(3)耐震補強を実施する。



みなさんと区議会

区議会議員は、区民の皆さんの代表として区民の中から選挙で選ばれます。この選挙が明るく公正なものとなり、清潔な政治が実現するよう「公職選挙法」はルールを定めています。議員は、この法律によって日常の活動に関連して様々な規制を受けています。

ここでは、区民の皆さんと係わりの深い事項についてご紹介いたします。

区議会は、清潔な政治の実現に引き続き努力してまいります。区民の皆さんの一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

●政治家の寄付禁止

政治家(現職の政治家や候補者、これから立候補しようとしている人を含む)は、選挙区内の人に対して寄付をすることは禁止され、罰則の対象となります。

ただし、政治家本人が自ら出席する結婚披露宴の祝儀や、葬式や通夜における香典を出すことは罰則の対象から除かれます。

【禁止される政治家の寄付の例】

- ・病気見舞い ・地域の行事やスポーツ大会への寄付や差し入れ
- ・葬式への花輪、供花 ・お中元やお歳暮

●政治家に対する寄付の勧誘・要求の禁止

政治家に対して寄付を出すように勧めたり、要求したりすることは禁止されています。また、おどしたり、あるいは政治家を陥れる目的で寄付を要求すると処罰されます。

●後援会の寄付の禁止

後援団体(後援会)が選挙区内の人に花輪、香典、祝儀などを出すことは処罰されます。

●あいさつ状の禁止

政治家は、選挙区内の人に答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、暑中見舞いなどの時候のあいさつ状(電報も含む)を出すことは禁止されています。

●あいさつを目的とする有料広告の禁止

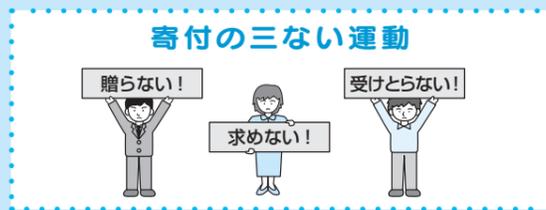
政治家や後援団体(後援会)が、選挙区内の人にあいさつを目的として、新聞、雑誌、テレビ等に有料で広告を出すことは処罰されます。

●飲食物の提供の禁止

誰であっても、選挙運動に関して飲食物を提供することは禁止されています。

ただし、お茶や通常用いられる程度の菓子や果物は除かれています。

有権者も選挙事務所で酒や弁当の提供を受けたり、陣中見舞いとして酒などを差し入れることはできません。



…… みなさんから出された請願・陳情 ……

●今回の定例会で新たに委員会に付託されたもの	付託委員会名
90号 北小岩地区「スーパー堤防」建設案の廃案・撤回に関する陳情	建設委員会
91号 (仮称)ファーストシーン新堀ウエスト・イーストマンション建設反対の陳情	建設委員会
92号 北小岩地区「スーパー堤防建設案」の撤回を求める陳情	建設委員会
93号 区立保育園をなくさず待機児解消は、認可保育園増設で行うことを求める陳情	福祉健康委員会
94号 鹿骨二丁目保育園・北葛西保育園の区立保育園存続を求める陳情	福祉健康委員会

◎今回の定例会で結果が出されたもの	結果
68号 人と犬のコミュニティー(ドックラン)建設に関する陳情	※趣旨採択(全会一致)

※議会としては、願意について十分理解できるものの、当分の間は願意どおりの実現は困難であるため「趣旨には賛成である」という意味の議決です。

高速道路料金不払い運動を助長した田中健議員に対する問責決議

田中健議員は、高速道路料金不払い運動を進める「フリーウェイクラブ」の会長らと共に、会員に高速道路料金を支払わずに通ることを疑いにより、滋賀県警察本部に11月15日逮捕された。

高速道路料金の不払いは、道路整備特別措置法に違反する行為であり、法令等は、国民が守るべき規範である。まして、多くの有権者から信託を受けた公職にある議員は、日本国憲法を始め各種法令を遵守すべき立場であることは言うまでもない。にもかかわらず、違法行為を助長する団体の副会長として、料金の不払いを勧めた行為は、議員としてあるまじき行為であり、言語道断である。

今回、田中健議員の逮捕は、区民のみならず、広く一般の方々にも江戸川区議会の品位に疑念を与え、区議会の名誉が大きく傷つけられた。このような事態に陥ったのは、田中健議員の議員人として常軌を逸する行動に原因があり、責任の重大さを十二分に受け止めるべきである。

よって、田中健議員においては、区民に対し、議員辞職も視野に入れた猛省をするよう、江戸川区議会の総意をもって、強く求めるものである。

以上、決議する。

平成18年12月12日

江戸川区議会

……平成19年第1回定例会開催予定……

2月15日(木) ……	本会議(議案上程、委員会付託)
20日(火) ……	本会議(一般質問)
21日(水) ……	本会議(一般質問)
22・23・26・27日	予算特別委員会
3月1・2・5・7日	
8日(木) ……	常任委員会(議案審査)
9日(金) ……	各常任委員会(請願・陳情等の審査)
15日(木) ……	本会議(委員会報告及び表決)

あとうがき

区議会だより第180号をお届けいたします。区議会や区政について理解を深めていただくためには、傍聴が最も身近な方法です。

どなたでもお気軽にお越しください。

区議会だより編集委員会
 ◎ 田島 すすむ
 ○ 北川 ひろし
 吉越 邦夫
 河合 恭一
 (◎委員長 ○副委員長)